

# 知識獲得時における情報源へのアクセス方法についての幼児の理解

齋藤 瑞恵

(日本学術振興会特別研究員・お茶の水女子大学人間文化研究科)

知識や知識獲得過程についての人々の理解を検討することは、実際の知識獲得行動との関連から重要である。実際の知識獲得場面で正確で詳しい知識を得るためには、単に情報源にアクセスするだけでは不十分であり、様々な点を考慮する必要がある。本研究は、情報源にアクセスする際に考慮すべき点として、①情報源の質（より信頼できる情報源にアクセスする必要がある）、②経験の質（基本的には間接経験より直接経験の方が良い）、③頻度（一回だけ情報源にアクセスするよりも複数回アクセスした方が良い）の3点を設定し、これらの点についての幼児の理解を検討する。

### 【方法】

**被験者** 3歳児 28名, 4歳児 27名, 5歳児 36名, 6歳児 28名 **課題** 情報源へアクセスする際に考慮すべき3点のそれぞれに対応するアクセス方法を選択肢の一つとする課題を各2題ずつ、計6題用意(Table 1)。**手続き** 事物を提示し、簡単な説明を行った後、選択肢を示しながら対象を知りたいときの方法としてどちらの方法が良いかを選択させ、理由付けを求めた。

### 【結果】

**①発達差** (Figure 1) : 課題(3)×年齢(4)の分散分析の結果、年齢の主効果が有意であり(F(3, 115)=25.56, p<.001), 3歳児<4歳児<5歳児<6歳児の間の差が有意であった。課題の主効果と年齢×課題の交互作用は有意ではなかった。

**②発達差は言語反応のためか?** : 選択課題と理由付け課題に分けて分析した(Table 2)。

**②-1 選択課題** : 課題(3)×年齢(4)の分散分析(max.=4)を行った結果、年齢の主効果が有意であり(F(3, 115)=15.83, p<.001), 3歳児<4歳児<5, 6歳児の間の差が有意であった。課題の主効果と課題×年齢の交互作用は有意ではなかった。また、選択課題の3課題について、年齢毎に、正答率をチャンスレベルと比較した結果、5歳児は情報源の質と頻度で、6歳児は3課題全てで、チャンスレベル以上の遂行であった。

**②-2 理由付け課題** : 課題(3)×年齢(4)の分散分析(max.=8)を行った結果、年齢の主効果が有意であり(F(3, 115)=21.88, p<.001), 3, 4歳児<5歳児<6歳児の間の差が有意であった。課題の主効果と課題×年齢の交互作用は有意ではなかった。

### 【考察】

これらの結果から、知識を有効に獲得するために情報源にアクセスする際に考慮すべき点についての理解は、3歳では不十分であったものが、加齢と共に発達することが示された。特に選択は5歳頃からチャンスレベル以上の正確さとなるが、理由付けは全体的に低得点であり、本研究で対象とした6歳でも十分に発達していなかった。今後、知識獲得過程そのものについての理解の発達や心の理論の発達などとの関連の検討が必要であると考えられる。

Table 1 提示刺激と選択肢

| 課題    | 対象     | 説明       | 選択肢                            |
|-------|--------|----------|--------------------------------|
| 情報源の質 | ツバイ    | おサルさんの仲間 | 動物のお医者さんに聞いてみる vs. お医者さんに聞いてみる |
|       | マンゴスチン | 果物の仲間    | コックさんに聞いてみる vs. お花屋さんに聞いてみる    |
| 経験の質  | コジュケイ  | 鳥さんの仲間   | コジュケイに会いに行く vs. お友達に聞いてみる      |
|       | ヒキオコシ  | 木の仲間     | ヒキオコシのそばに行く vs. お友達に聞いてみる      |
| 頻度    | ハシドイ   | 花の仲間     | 毎日毎日見に行く vs. 1回だけ見に行く          |
|       | イッカク   | クジラさんの仲間 | 何回も何回も見に行く vs. 1回だけ見に行く        |

Table 2 選択課題と理由付け課題の平均点

|     | 選択課題        |             |             | 理由付け課題      |             |             |
|-----|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
|     | 情報源の質       | 経験の質        | 頻度          | 情報源の質       | 経験の質        | 頻度          |
| 3歳児 | 1.92 (1.18) | 1.96 (1.10) | 1.92 (1.24) | 0.25 (0.51) | 0.42 (0.63) | 0.14 (0.35) |
| 4歳児 | 2.48 (1.15) | 2.25 (1.09) | 2.29 (1.56) | 1.00 (1.49) | 1.22 (1.82) | 0.85 (1.37) |
| 5歳児 | 3.11 (0.97) | 2.58 (1.29) | 3.00 (1.14) | 2.22 (2.09) | 2.16 (2.04) | 2.41 (2.28) |
| 6歳児 | 3.17 (0.98) | 3.42 (0.92) | 3.00 (1.36) | 3.17 (2.35) | 3.53 (2.30) | 2.82 (2.65) |

注 ( )内は標準偏差である。

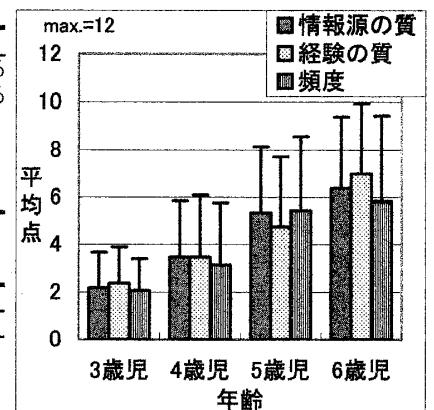


Figure 1 課題平均点